

令和6年度 女性委員・会員等と議会の意見交換会

(記録)

- 1 開催日時 令和6年11月23日(土) 午前10時00分～午前11時30分
- 2 会場 胎内市役所3、4階(①全員協議会室、②委員会室、③301会議室)
- 3 実施要領 常任委員会別に3グループに分け、それぞれのテーマを設定し意見交換を実施。
- 4 参加者 12名(市内の女性委員・会員等【9団体】)
胎内市民生児童委員協議会連合会、胎内市商工会女性部、
胎内市保健推進員、農村地域生活アドバイザー
胎内市PTA連絡協議会、青少年育成胎内市民会議、さわらび保育園
胎内市男女共同参画推進委員会、胎内市農業委員会
- 5 意見交換内容

【1班】テーマ：『子育て・教育・学び・防災について』

【参加者】

*女性：4名

*議員：総務文教常任委員会(4名)

委員長 笥 智也、副委員長 坂上 清一
委員 薄田 智、渡辺 栄六

【発言要旨】

- 1 中学生の自転車通学路で、雑草の繁茂や樹木の枝張り、盛り上がった木の根など、歩道等の整備が良くない箇所がある。また、蜂などの害虫対策も必要ではないか。危険個所を避けて通過する際、車道に出たりバランスを崩したりしている。
- 2 他地域に住んでいた際、市のサイトにスマートフォンで危険個所を撮影して送信できるものがあった。危険度に応じて対応してもらえることもあり、非常に便利だった。
- 3 保育園以外で遊ぶ場所が少ないと感じる。ふれすぽ胎内が無料開放される時はありがたく使わせてもらおうが、あまり頻繁に行わないのであきらめもある。もっと室内での遊び場があったら良い。

- 4 展望台の話があるが、どのくらいの人が必要としているのか。生涯学習施設を優先した方が、市民が必要としているのではないか。
- 5 乙中学校は、1学年が20人程度と少なく、ライバルというよりも友達感覚のまま保育園から中学校まで過ごしており、部活動も少なく、他校との交流が必要であると感じる。競争心を持てる環境があればよいと思う。
- 6 現在の4つの中学校区が離れすぎていて、1つになるというイメージが湧かない。
- 7 統合となった場合、中学校区ごとにある地域の祭事や決まりなどが大変になるのではないか。
- 8 中学生の登下校時に持ち歩くテキストの量が多すぎてカバンが重くなり、成長期の身体に負荷がかかっている。タブレット端末を活用するなどの対応はできないのか。
- 9 今朝の火事は消防車の到着まで20分程待つことになり、それまでの間、地元消防団や消防団OBの皆さんが手分けをして消火活動を行ったため、被害が小屋だけで済んだ。そういった地域の繋がりが大事だと感じた。
- 10 能登半島地震の際、私の地域では避難指示を受け、つつじが丘方面に逃げた。子どもが学校で他の子と話をした際、築地中学校に避難した家族もいたと聞いた。人によって避難する場所の考え方にバラつきがあると感じた。

【2班】テーマ：『健康・福祉・環境について』

【参加者】

*女性：4名

*議員：厚生環境常任委員会（4名）

委員長 羽田野 孝子 、 副委員長 坂上 隆夫

委員 小野 徳重 、 森本 将司

【発言要旨】

- 1 弁当の配達ボランティア活動を行っている。安否確認も同時に行っているが、具合の悪い方がおられて介護した経験がある。
- 2 コロナ禍で地域のコミュニケーションが取れない。高齢者の方が外出せず、1人暮らしの方の安否確認の取り方がわからない。相談する場がない。
- 3 福祉介護課開催の通いの場がある。サロンも開催されており、女性の参加は多いが、男性の参加は少ない。1人暮らし方の参加者を促すことで、安否確認にもなる。

- 4 マージャンの日が毎週木曜日であり、好評である。
- 5 地域のコミュニケーションがなくなってきた。隣近所の付き合いも悪い。
- 6 1人暮らしの方を気にかける体制が必要である。配達物が溜まってきた時の対応など。
- 7 地域の共助の在り方を考えた方が良い。一方で、共助が進んでいる地域もある。
- 8 身寄りがない人の葬式をどうするのか問題である。
- 9 18歳以下の医療費負担額が530円で助かっている。
- 10 地域に産婦人科が無いと大変不便である。
- 11 民生委員のなり手がいない。委員の負担が大変なところがある。
- 12 出産後はおむつが多く必要で、市からの補助があると良い。

【3班】テーマ：『産業・雇用・生活基盤について』

【参加者】

*女性：4名

*議員：まちづくり常任委員会（4名）

委員長 増子 達也 、 副委員長 丸山 孝博
委員 天木 義人 、 渡辺 秀敏

【発言要旨】

- 1 女性の意見を聞く場を持つということは、とても素晴らしい取組だと思う。
- 2 農業委員は女性が少なく、女性や非農家である事に理解が得られない場合もある。交際費（主に会費や懇親会）の負担が重いので、助成などを検討していただきたい。
- 3 小学校の農泊を受けている。主に世話をするのが女性で、男性は何もしない事が多い。
- 4 胎内市は6次産業化の取組みは積極的なのか。
- 5 農産物の販売や観光をうまく利用し、道の駅やリップルをもっと活用すべきだ。
- 6 展望台を単体で作るだけは意味がなく、維持費も結構かかると思う。長池全体の活用を考えるべきだ。
- 7 孫がおり、天気が悪い日に遊ぶ場所がない。近隣には廃校を利用した屋内遊具施設があり、そこに行ったりするが、近場にあったら良いと思う。
- 8 生涯学習施設の建設に期待している。
- 9 農業経験は全く無かったが4年前に就農した。現在ハウスでトマト栽培をしているが、なかなか収益を出すまでにはいかない。

- 10 能登半島地震の際、避難所で生理用品を配布していたが、男性が担当していたため受取りに行きづらいということがあった（特に中高生）。また、必要数を理解しておらず、1回に1つしか配付されずに困ることもあった。女性の生理について、男性も小・中学校や社会で教育を受けるべきで、そのことが男女の差を縮めるために必要だと思う。
- 11 中学生の通学路で下校時に暗くなる道がある（途中には林もある）。街灯を増やしてほしい。
- 12 歩道が無い区間や痛んでいる箇所もあり危ない。
- 13 全国的に人手不足であるが、胎内市の企業は足りているのか。
- 14 昔は長男が家を継ぐなどで家に残っていたが、今は大学進学を契機に家を離れてしまい、地元若い人が少なくなっている。胎内市には海・山・川があり、自然が豊富である。奥胎内に行ってみると紅葉が綺麗ですごく感動した。胎内市の魅力は沢山あるので、子たちに魅力を伝えて地元愛を育てることで、若い人が地元に戻ってきたり残ってくれたりすると思う。
- 15 空き家バンクの利用するための手続きなどが高齢者には難しい（空き家を売る方）。
- 16 保健推進委員をしているが、後継者がおらずやめられない。
- 17 のれんす号には大型荷物を載せられない。胎内市はバスも無いため、のれんす号を利用したかったが、子どもがスノーボードに行く際に板を載せられず、利用できなかった。